

# 「関西イノベーション国際戦略総合特区」における オープンイノベーション拠点の整備について

【担当省庁】内閣府、厚生労働省、経済産業省

## 旧「私のしごと館」の早期譲渡

- ◆ 京都府では旧「私のしごと館」を国の成長戦略に資する最先端の研究・開発拠点として有効活用することとしており、国において、平成 25 年度内に、館内に残存する展示物の撤去や、不具合が生じている附属設備の改修等を実施していただき、早期に譲渡していただきたい。

## 京都府立医科大学における革新的な医療機器の研究・開発の「医工連携事業化推進事業」への採択

- ◆ 平成 25 年度に内閣府の総合特区推進調整費を活用し、経済産業省の「課題解決型医療機器等開発事業」に採択された京都府立医科大学における革新的な医療機器等の研究・開発を平成 26 年度も継続して実施できるように、「課題解決型医療機器等開発事業」からリニューアルされた「医工連携事業化推進事業」に採択していただきたい。

### ○医療現場用末梢神経の高速検知システムの研究・開発

＜研究・開発期間：H25～H27＞ 【H25：80,000 千円】

腫瘍などの切除手術や神経形成手術において、末梢神経の損傷を防止するため、術者の知識や経験によらず迅速に末梢神経の位置把握を可能とする末梢神経視覚化装置の開発

### ○多孔質高分子樹脂を用いた低侵襲手術における剥離機器の研究・開発

＜研究・開発期間：H25～H27＞ 【H25：31,500 千円】

内視鏡外科手術などの低侵襲手術で使用される臓器圧排・剥離機器について、操作性・安全性に優れ、胸部外科領域から腹部外科領域に至るまで幅広く使用可能な新製品の開発

## ＜経済産業省の概算要求＞

### ◎医工連携事業化推進事業 45.5 億円（新規）

高い技術力を有するものづくり企業と医療機関・大学との医工連携により、日本発の医療機器等の開発・実用化を支援する。

- ①医療現場の課題・ニーズに応える医療機器の開発・実用化
- ②医工連携コーディネート機能の整備、連携体制の構築

現状・課題等

◎けいはんなオープンイノベーション拠点の整備

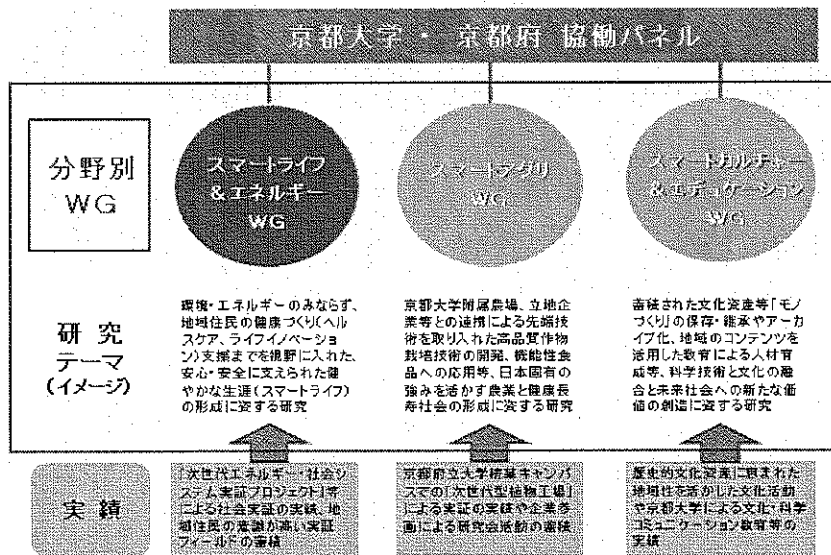
関係の大学、研究機関、企業等との連携による検討体制のもとで、拠点の運営方法や事業内容について検討を進めている。

なお、共同研究等の内容については、京都大学との協働パネル設置後、けいはんな学研都市の強みやネットワークが活用でき、都市建設の理念にも合致した領域である、「スマートライフ&エネルギー」「スマートアグリ」「スマートカルチャー&エデュケーション」の領域でワーキンググループを立ち上げ、検討を進めている。



→ 京都大学と京都府の双方が協働して拠点整備の中核を担いつつ、拠点運営における課題や問題点等を共有し、その解決・解消に向けて互いに協力

けいはんなオープンイノベーション拠点 分野別WG研究テーマのイメージ



けいはんなオープンイノベーション拠点整備 京都大学・京都府協働パネル設置共同記



研究開発拠点整備に向けて「協働パネル」を設置した山田京都府知事、長尾真・特別参与と松本京大総長(写真左から)

旧「私のしごと館」を、関西での研究開発のリーディング施設に!

◆医療現場用末梢神経の高速検知システム  
(製品名) ラマン光による末梢神経検知システム

提案医療機器のポイントと医療現場の課題・ニーズへの対応方法

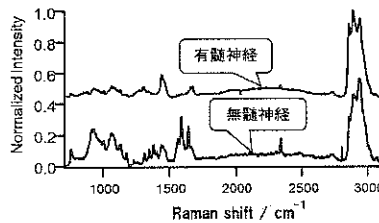
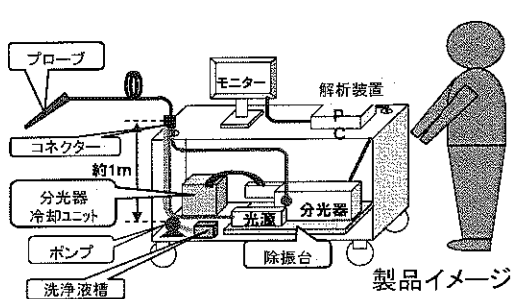
■腫瘍などの切除手術や神経形成手術での課題・ニーズ

末梢神経を術中に正確に同定したい

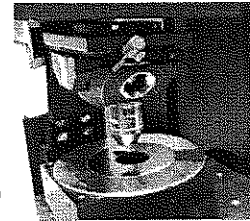
現状では外科医の目視による神経同定のため正診率が低い

⇒ 末梢神経を十分に温存・形成できず、後遺症を残す症例が多い

■提案医療機器 術者の経験と勘によらず末梢神経を的確に同定することができるシステム



正診率: >92.4%



簡便・正確に末梢神経を術中同定 ラット組織、ヒト前立腺周囲組織で確認済

◆多孔質高分子樹脂を用いた低侵襲手術における剥離機器の開発・改良

提案医療機器等のポイントと、医療現場の課題・ニーズへの対応方法

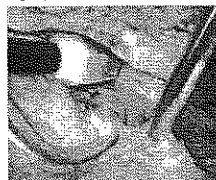
内視鏡外科手術用臓器圧排・剥離機器

先端が球体、圧縮綿糸素材

課題

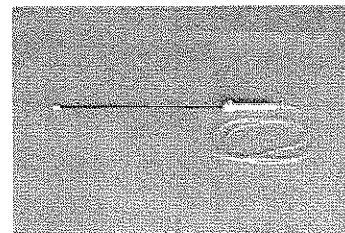
圧排時のズレ、臓器損傷の危険、  
低剥離性、低耐久性、低吸水性

術者ストレス



<回転剥離性比較>

ロータリーダイセクター	2.7
従来製品	1



【京都府の担当部局】

政策企画部 文化学術研究都市推進課

075-414-5194